第１２回びわ環サークル例会活動報告

見学と講演会

課　　題	琵琶湖環境科学研究センター見学と講演会	
開催日時	平成 30 年 8 月 30 日（木曜日）晴れ　　13：00～15：00	
場　　所	大津市柳ヶ崎５－３４　２階会議室 （JR 大津京駅から徒歩２０分）	
説　　明	環境情報室の見学と同センターの研究内容紹介	管理部企画係主査　野村俊夫様
	「生態系保全につながる物質循環のあり方に関する研究」の講演	総合解析部門副部門長　早川和秀様
参加者	びわ環サークル事務局	一色実
	レイカディア大学	38 期　岡村保行、村井克之、39 期　阿部一広、大滝浩見、大野光男、寺澤孝之、小篠伸二、小西愼一、谷弥一郎、辻和夫、津田美佐子、西木正枝、中川直人、松村さかえ、百木義忠、一色実、40 期　太田勝祐、木村和由、沢村幹雄、田中稲夫、吉岡俊雄、川田道紀、下山健二、早川正子、下川憲一、新垣重男、河合保、山崎明成 28 名

１．はじめに

滋賀県琵琶湖環境科学研究センターの琵琶湖講習を事前に申し込み、蓄積している知見や現在の取り組みの地域還元の一環として受理して頂き、開催した。当日は公共交通機関を利用された方や自動車の場合は同センター向いの柳ヶ崎湖畔公園有料駐車場を利用して、同センター内２階ホールに集合して頂いた。

はじめに１０分程度、野村主幹が環境情報室で、開館日時や利用法等の説明を行って頂き、会議室で、引き続き同センターの組織や研究内容をご説明頂いた。休憩後、早川副部門長に「生態系保全につながる物質循環のあり方に関する研究」の講演を丁寧に分かりやすくお話し頂き、２･３件の質疑応答を行って閉会し、現地解散した。

２．見学・講義の概要

（１）滋賀県琵琶湖環境科学研究センターの概要：パンフレットが発行されている。２００５年に滋賀県琵琶湖研究所と県立衛生環境センターが統合されて開所され、現在４７名、管理部７名、総合解析部門１７名、環境監視部門２０名。他府県との違いは、施策提言と成果還元に研究成果を生かしていること。７つの政策課題と調

査解析、分析評価モニタリング等についても説明頂いた。

環境情報室は、毎週月、火、水　１０：００－１６：００開室で、県民に開放されている。課題学習等に活用できる情報や文献が多く、是非、利用頂きたい。

（２）講演

今年開催された「しが水環境ビジネスフォーラム」での発表を聴講した内容に加えて、琵琶湖の持つ価値や水質の過去からの推移やこれからの生態系保全にもつながる取り組みについて、丁寧にご説明頂いた。課題学習で取り組んだ「草津川の上流から下流までの水質調査」についても言及頂き、市民の立場で琵琶湖を見守る参考にしたいと思いました。

３．見学と講演会で感じたこと

・びわこ環境学科で日頃学んできたことと同センターでの取り組みが結び付き、ますます、琵琶湖の環境保全と再生に関心が強く持てたこと。

・びわ環サークルの行事の中でも参加者が多く、毎年の定例的な行事に組み込みたい。

・今回は、水質や空気等の分析装置が見学出来なかったが、採水現場も含めて紹介出来るように交渉していく。

写真１　：　早川副部門長の講演写真

写真２　：　野村主査の環境情報室の説明会

４．アンケート結果

（１）今回の行事について：良い　２６名、普通　２名、悪い　０名

（２）改善点

・講演資料のレジメが欲しい

・年間計画を提示して欲しい

・学期年度毎の担当を補充して取り組む

（３）今後の行事

・施設見学１６名、講演会１５名、野外学習１４名、親睦会６名

・琵琶湖清掃・環境ボランティア２名、学習船の乗船、琵琶湖疏水管理部門、農業系小規模下水処理施設、参考図書の紹介、山里や山林見学、国環研